

介護職員

初任者研修

2024年6月開講

通信教育

通学&レポート学習

＜当社研修の特色＞
介護の基礎研修です。ゆっくり介護に必要な知識・技術を楽しく学べます。

【講義・演習内容(一部抜粋)】

＊ 介護の基本・自立支援

＊ 介護・福祉・医療の理解

＊ 障害・医学・老化の理解

【実技・演習内容(一部抜粋)】

＊ ベッドメイキング

＊ ボディメカニクスの活用

＊ 体位交換・移動・移乗の介護

＊ 食事・入浴・排泄の介護

＊ グループワーク、実技演習

介護職員初任者研修(通学&通信学習)を2024年6月開講します。介護の未経験、初心者の方でも安心して受講できる研修です。介護の資格取得の相談対応行います。介護に必要な知識・技術習得・スキルアップを応援します！！

日時 2024年6月19日(水)～2024年12月16日(月)
通学月3回～4回(全16日)午前9:00～午後17:00
通信教育4回(自宅学習)

内容 通学による講義・演習
通信教育による学習(レポート4回提出)

費用 受講料30,000円
(初任者研修テキスト代込み)

定員
12名

介護の基礎研修 実務者研修130時間免除になります！！

介護福祉士受験要件に実務者研修450時間が必須になりました。初任者研修は介護の初任者向け研修ですが、修了すると実務者研修130時間免除になります。実務者研修受講前に初任者研修で介護の基礎を学ぶことお勧めします！！

●主催 (株)シダー 介護職員初任者研修担当 山口・浅富

TEL093-932-7005

〒802-0042 福岡県北九州市小倉北区足立二丁目1番1号

<http://www.cedar-Web.com/>

●開催場所 あおぞらの里 小文字デイサービスセンター横 建物2F 研修室

その他、お気軽にお問い合わせください(受付時間9:00～17:00※日曜除く)



●会場案内

【交通アクセス】「JR 小倉駅⇒西鉄バス霧ヶ丘3丁目行き(27・28番のバス)⇒神岳1丁目停留所下車 徒歩5分」
都市高速 足立インターより 車5分

研修案内（介護職員初任者研修）

2024年6月19日開講（通学&通信教育）

期間：6月～12月「月3回～4回通学（9:00～17:00）&レポート4回提出」

受講案内

案内資料請求、受講申込

- ・お問い合わせ、案内資料請求は下記宛先にご連絡ください
 - ・ご自宅へ申込み受付後、申込み書類送付します
 - ・受講決定は後日ご連絡致します
- （受講申込み定員に達した時点で受講募集終了します）



介護職員初任者研修テキスト使用
全2巻 出典 中央法規出版

研修内容

講義・演習カリキュラム

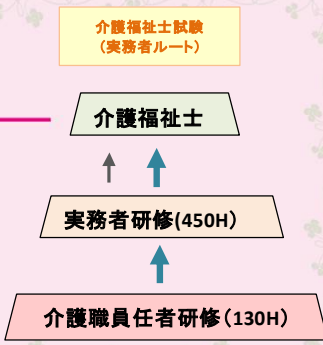
- ・わかりやすいテキスト、視聴覚教材やグループワーク
多様な講義・演習を行い介護の知識の理解を深めます。
- ・ベッドや車いす等使用し実技演習、介護技術を習得します
- ・介護に必要な基本的な知識・技術を学べます

＜研修実績＞	
R5年度	22名修了
R4年度	11名修了
R3年度	17名修了
R2年度	10名修了
R1年度	10名修了
H30年度	10名修了
H29年度	11名修了
H28年度	10名修了
H27年度	12名修了
H26年度	12名修了
H25年度	10名修了
※通学・通信修了者含む	

研修受講

初任者研修受講のメリット

- ・実務者研修が130時間免除になる（履修科目免除あり）
- ・実務者研修学習に有利、月2回通学無理なく学習（実習なし）
- ・年1回8ヶ月少人数の実施、無理なく学習できます



🍀【お申込み・お問い合わせ先】お気軽にご連絡ください！！

🍀 株式会社シダー 介護職員初任者研修 担当山口・浅富

🍀 TEL093 - 932 - 7005 受付時間 9:00～17:00日曜日除く

🍀 通学会場：あおぞらの里 小文字デイサービスセンター隣
パインビル2階（白い建物）



参考：あおぞらの里
小文字デイサービスセンター

様式第2号

学 則

令和6年4月1日現在

1 事業者の名称及び 所在地	株式会社 シダー 福岡県北九州市小倉北区足立二丁目1番1号
2 研修の名称及び形式	介護職員初任者研修（ <input type="checkbox"/> 通学 <input type="checkbox"/> 通信 ）
3 事業者が用いる研修 の名称	株式会社 シダー 介護職員初任者研修
4 研修責任者名	山口 清志
5 研修の目的	身近になった地域の高齢化、介護・福祉への社会的ニーズに応えられる、専門的知識・技術を有する人材が必要とされている。介護に関わる上で基本となる介護の知識・技術を習得できる介護職員初任者研修を実施し、地域の福祉・介護に貢献できる人材を育成することを目的とする。
6 受講資格及び定員	1) 心身ともに健全で、福祉や介護に関心のある方 2) 介護・福祉の分野の知識を身につけたい方で、 講習カリキュラムの全日程を受講可能な方 通学課程（定員18名）／通信課程（定員12名）
7 研修参加費用 ・受講料 ・テキスト代 ・その他必要な経費	合計 30,000円 (内訳)・受講料：24,500円 ・テキスト代：5,500円(税込) ※受講後の途中解約の場合、受講料の返金を行わない。
8 使用教材(テキスト) ※副教材を含む。	<使用教材> 介護職員初任者研修テキスト 第1巻 介護のしごとの基礎 第2巻 自立に向けた介護の実際 発行元：中央法規出版
9 研修カリキュラム	別紙「研修日程表」(様式第3号)参照 別紙「研修区分表(通信の方法の場合)」(様式第4号)参照 別紙「見学及び実習実施日程表」(様式第6号その1)参照
10 研修会場一覧	講義及び演習会場一覧表(様式第10号)参照
11 科目ごとの担当講師 名一覧	講師一覧表(様式第7号)参照

<p>12 見学及び実習施設一覧 ※実習を行う場合のみ</p>	<p>見学及び実習施設一覧表（様式第 12 号その 1）参照</p>
<p>13 受講者募集手続</p>	<p>受講者募集は、新聞折込みチラシ等の広告、雑誌広告等、弊社のホームページにて実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 問い合わせ受付・・・電話連絡によって受け付ける。 電話連絡受け付け後、問い合わせご本人宅へ受講案内、研修カリキュラム、申込書を送付する。 2) 受講希望者・・・受講申込用紙に必要事項を記載の上申し込み用紙をシダー本社へ郵送する。 3) 受講決定通知・・・担当者より受講希望者へ連絡する。 ※応募者多数の場合は選考とさせていただきます。 4) 定員に達した時点で受講者募集は終了する。 5) 受講者は、研修参加費用、教材代は開講式に現金にて徴収する。 初回受講開始前に本人確認できる次のいずれかで身分証明書を提示確認させていただきます。 1、「運転免許証」 2、「健康保険証」 3、「年金手帳」 4、「戸籍抄本又は住民票」 5、「戸籍謄本」 6、「住民基本台帳カード」 7、「パスポート」 8、「在留カード等」 9、「国家資格の免許証又は登録証」
<p>14 科目の一部の免除の 取扱いとその手続</p>	<p>特別養護老人ホーム等において、1年以上の介護等の実務経験を有する者（介護等の実務経験が1年以上の者）が受講を希望した場合には、「(1)職務の理解」の科目、「(9)こころとからだのしくみと生活支援技術」の実習を免除することができる。 ※受講申請時 証明書の提出が必要。 上記免除者・・・受講料の減免はしない。</p>
<p>15 通信学習の実施方法 ア 学習方法 イ 添削指導及び面接指導の実施方法 ウ 評価方法 エ 通信の方法によって行う地域</p>	<p>通学学習の場合（通信学習実施なし）</p>

	<p>通信学習の場合（通信学習実施あり）</p> <p>ア 学習方法</p> <p><通信課題の配布></p> <p>テキストに添った通信課題や補助教材（視聴動画・資料等）を配布し、答案用紙を通信学習の各科目ごとに1回以上配布し受講者に所定の期日までに答案用紙を郵送又はFAX、メールで提出してもらう。</p> <p>配布方法・・・初回の開講日に通信課題、答案用紙を配布以降郵送又はメールで配布する。</p> <p>イ 添削指導及び面接指導の実施方法</p> <p>提出された答案用紙について、添削を行い、可否・講評を付して受講者に返却する。</p> <p>合格は100点中70点以上とする。その点数に満たない場合は、再度指定された課題等について期日まで提出し再度評価を受けてもらう。以降70点以上に至るまで繰り返し行う。</p> <p>個別学習の際の質問に関しては、任意の質問用紙による郵送又はFAX、メールで受け付け回答する。通信添削課題に対する答案用紙の提出が滞っている受講者については、学習相談に応じ、必要な指導・助言を行う。</p> <p>ウ 評価方法</p> <p>通信添削は、担当講師により評価する。介護技術演習は担当講師が演習の都度、評価する。</p> <p>エ 通信の方法によって行う地域</p> <p>（通信の方法によって行う地域）</p> <p>福岡県内及び近隣県（面接指導のための通学が可能な地域）</p>
<p>16 研修修了者の認定方法 （修了評価の実施方法等）</p>	<p><認定方法></p> <p>カリキュラムを全て履修後、修了評価を行う。</p> <p>修了評価・・・</p> <p>1) 生活支援技術の習得状況の評価は、演習を通して確認を行う。</p> <p>2) 全科目履修後、受講者の知識、技術等の習得度の評価を筆記試験にて行う。</p> <p>認定基準・・・</p> <p>1) 評価基準の70点以上の評価の受講者は、評価基準を満たしたものとして修了認定する。</p> <p>2) 評価基準の69点以下の受講者には、補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。</p>

	<p>※評価 筆記試験不合格時の取扱い： 必要な補習を行い、再試験を実施する。 「再試験不合格者」補習・筆記試験を後日実施する。 試験1回につき補習・筆記試験代1,000円徴収する。</p>
17 研修欠席者の取扱い ※遅刻者及び早退者の取扱いを含む。	研修の欠席、遅刻、早退をした者で、やむを得ない事情があると認められる場合については、日程調整して、欠席、遅刻、早退した時間に応じた、補講を実施する。
18 補講の取扱い (実施方法及び費用の有無等)	研修の欠席、遅刻、早退をした者で、やむを得ない事情があると認められる者については、日程調整して、補講を実施する。 補講費用：1科目につき、1,000円受講者負担とする。
19 受講の取消し	次に該当する者は、受講を取消することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲が著しく欠け、修了の見込みが無いと認められる場合。 ・研修の秩序を乱し、その他受講者としての本分に反した場合。 ※この場合、受講料の返金は行わない。なおその間履修した当該研修については、全て無効とする。
20 修了証明書の交付	全科目の履修後、筆記試験に合格して、修了認定された方には、福岡県介護職員初任者研修実施要綱の定める修了証明書及び携帯用修了証明書を交付する。
21 研修修了者の名簿の管理	研修修了者の名簿は、修了者を修了者台帳に記載し、永年保存する。修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。
22 受講者の個人情報の取扱い	受講者から得た個人情報については、個人情報保護法、弊社の規定に沿って厳重に管理する。
23 研修の実施担当部署	株式会社 シダー 本社 介護職員初任者研修係 電話 093-932-7005
24 その他研修実施に係る留意事項	<p><苦情窓口> 研修に関する苦情等の窓口を設け、研修の苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。 苦情対応部署：株式会社シダー 本社 総務部 電話093-932-7005</p> <p><その他> この学則に必要な細則並びにこの学則に定めのない事項で必要があると認められる時は、弊社がこれを定める。</p>

研修日程表

事業者名：株式会社 シダー

研修名：介護職員初任者研修

研修期間：7カ月間 令和6年6月19日～令和6年12月16日

●講義・演習

研修日	研修時間	① 時間 数	科目名	担当講師 (補助講師)	会場
6/19 (水)	9:00 ~ 9:15	0.25	講義・演習オリエンテーション	山口清志	パインビル 2階研修会 場
	9:25 ~ 11:25	2	1 (1) 多様なサービスの理解		
	11:35 ~ 12:35	1	1 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		
	13:35 ~ 15:05	1.5	1 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解 施設見学 (デイサービス) 1 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解 施設見学 (有料老人ホーム)	山口清志	あおぞらの里 小文字デイ サービスセン ター 有料老人ホー ム 小文字の郷
	15:15 ~ 16:45	1.5	1 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	山口清志	パインビル 2階研修会 場
7/3 (水)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (1) 介護の基本的な考え方	山口清志	パインビル 2階研修会 場
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:40	1.5	9 (2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	山口清志	
	14:50 ~ 16:20	1.5			
7/11 (木)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	川崎史郎	パインビル 2階研修会 場
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:40	1.5	9 (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	川崎史郎	
	14:50 ~ 16:20	1.5			
7/22 (月)	9:00 ~ 10:30	1.5	2 (1) 人権と尊厳を支える介護	山口清志	パインビル 2階研修会 場
	10:40 ~ 12:10	1.5	11 高齢者問題をはじめとする人権問題	黒木脩平	
	13:10 ~ 14:40	1.5	3 (3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	田中 裕三	
	14:50 ~ 16:20	1.5	3 (4) 介護職の安全		
7/29 (月)	9:00 ~ 10:30	1.5	4 (1) 介護保険制度	中野耕司	パインビル 2階研修会 場
	10:40 ~ 12:10	1.5	4 (2) 障がい福祉制度およびその他制度	中野耕司	
	13:10 ~ 14:40	1.5	5 (1) 介護におけるコミュニケーション	山口清志	
	14:50 ~ 16:20	1.5	5 (2) 介護におけるチームのコミュニケーション	山口清志	

●講義・演習

研修日	研修時間	① 時間 数	科目名	担当講師 (補助講師)	会場
8/5 (月)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (4)生活と家事	浅富直子	パインビル 3階研修会 場
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:40	1.5	7 (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	浅富直子	
	14:50 ~ 16:20	1.5	7 (3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		
8/22 (木)	9:00 ~ 10:00	1	8 (1) 障害の基礎的理解	田上純子	パインビル 2階研修会 場
	10:10 ~ 11:10	1	8 (2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、 かかわり支援等の基礎的知識		
	11:20 ~ 12:20	1	8 (3) 家族の心理、かかわり支援の理解		
	13:20 ~ 14:50	1.5	6 (2)高齢者と健康	山口清志	
	15:00 ~ 16:30	1.5		山口清志	
9/2 (月)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	山口清志	パインビル 2階研修会 場
	10:40 ~ 12:10	1.5	9 (8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	伊藤多恵	
	13:10 ~ 14:40	1.5			
	14:50 ~ 16:20	1.5			
9/10 (火)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	山口清志	パインビル 2階研修会 場
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:40	1.5	9 (6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	山口清志	
	14:50 ~ 16:20	1.5			
9/19 (木)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (5)快適な居住環境整備と介護	本村智恵美	パインビル 2階研修会 場
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:40	1.5	9 (12) 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護	花田杏奈	
	14:50 ~ 16:20	1.5			
10/1 (火)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	山口清志	パインビル2階 研修会場 有料老人ホーム 小文字の 郷
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:40	1.5	9 (10)排泄に関連したこころとからだのしくみ自立に向けた介護	花田杏奈	パインビル 2階研修会 場
	14:50 ~ 16:20	1.5			

●講義・演習

研修日	研修時間	① 時間 数	科目名	担当講師 (補助講師)	会場
10/7 (月)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	山口清志	パインビル2階 研修会場 有料老人ホーム 小文字の郷
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:40	1.5	9 (7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	山口清志	
	14:50 ~ 16:20	1.5			
10/17 (木)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	花田杏奈	パインビル 2階研修会場
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:40	1.5	9 (11)睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	浅富直子	
	14:50 ~ 16:20	1.5			
11/5 (火)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (13)介護過程の基礎的理解	浅富直子	パインビル 2階研修会場
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:40	1.5	9 (13)介護過程の基礎的理解	浅富直子	
	14:50 ~ 16:20	1.5			
11/18 (月)	9:00 ~ 10:30	1.5	9 (14)総合生活支援技術演習	上村絵美	パインビル 2階研修会場
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:40	1.5	9 (14)総合生活支援技術演習	上村絵美	
	14:50 ~ 16:20	1.5			
12/10 (火)	9:00 ~ 10:30	1.5	10 (1) 振り返り	山口清志	パインビル 2階研修会場
	10:40 ~ 12:10	1.5			
	13:10 ~ 14:10	1	10 (2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	山口清志	
	14:20 ~ 16:20	2	修了評価 筆記試験(修了判定)	山口清志	
	16:30 ~ 16:45	修了式			
12/16 (月)	9:00 ~ 10:00	1	補講	山口清志	パインビル 2階研修会場
	10:10 ~ 12:10	2	修了評価 再筆記試験(修了判定)	山口清志	
	12:20 ~ 12:35	修了式			

※1 「研修日」欄は、通信方式の場合にあっては学習期間を記入すること。この場合「研修時間」は記入不要であること。

※2 「実習の有無」欄は、科目の中で実習を行う場合に「○」を記入すること。

研 修 日 程 表

事業者名：株式会社 シダー

研 修 名：介護職員初任者研修

研修期間：7カ月間 令和6年6月19日～令和6年12月16日

●講義・演習

研修日	科目名	担当講師	課題レポート期限
6/19 (水) ～ 7/21(日)	2 (1)人権と尊厳を支える介護	山口清志	第1回課題レポート 7月22日 【提出方法：持参】
	5 (1)介護におけるコミュニケーション		
	5 (2)介護におけるチームのコミュニケーション		
7/22 (月) ～ 8/21(水)	2 (2)自立に向けた介護	浅富直子	第2回課題レポート 8月22日 【提出方法：持参】
	3 (1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		
	3 (2) 介護職の職業倫理		
	4 (3) 医療との連携とリハビリテーション	水民潤	
8/22 (木) ～ 9/18(水)	4 (1)介護保険制度	中野耕司	第3回課題レポート 9月19日 【提出方法：持参】
	4 (2)障がい福祉制度およびその他制度	中野耕司	
	6 (1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	浅富直子	
	7 (1) 認知症を取り巻く状況		
	7 (4) 家族への支援		
9/19 (木) ～ 10/16(水)	9 (6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	浅富直子	第4回課題レポート 10月17日 【提出方法：持参】
	9 (7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	山口清志	
	9 (8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	浅富直子	
	9 (9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	山口清志	
	9 (10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	山口清志	

※1 「研修日」欄は、通信方式の場合にあっては学習期間を記入すること。この場合「研修時間」は記入不要であること。

※2 「実習の有無」欄は、科目の中で実習を行う場合に「○」を記入すること。

担当講師一覧表

事業者名：株式会社 シグダー

令和6年4月1日現在

科目名	講師名	補助講師	要件に係る資格等の名称	講師承諾書等の提出状況		
				提出済	新規提出	科目追加
1 職務の理解						
(1)多様なサービスの理解	山口 清志		介護福祉士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		
(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	山口 清志		介護福祉士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		
	志賀 直樹		介護福祉士	○		
	田邊 寛享		介護福祉士	○		
2 介護における尊厳の保持・自立支援						
(1)人権と尊厳を支える介護	山口 清志		介護福祉士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		
(2)自立に向けた介護	橋田 幸雄		介護福祉士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		
	山口 清志		介護福祉士	○		
3 介護の基本						
(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	橋田幸雄		介護福祉士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		
	山口 清志		介護福祉士	○		
(2)介護職の職業倫理	橋田幸雄		介護福祉士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		
	山口 清志		介護福祉士	○		
(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	高木 誠		介護福祉士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		
	山口 清志		介護福祉士	○		
	田中 裕三		介護福祉士	○		
(4)介護職の安全	高木 誠		介護福祉士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		
	山口 清志		介護福祉士	○		
	田中 裕三		介護福祉士	○		
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携						
(1)介護保険制度	中野 耕司		介護支援専門員	○		
	富永 博之		介護支援専門員	○		
(2)医療との連携とリハビリテーション	水民 潤		理学療法士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		
	山口 清志		介護福祉士	○		
	宮路 大輝		理学療法士	○		
(3)障がい福祉制度及びその他制度	中野 耕司		介護支援専門員	○		
	富永 博之		介護支援専門員	○		
5 介護におけるコミュニケーション技術						
(1)介護におけるコミュニケーション	山口 清志		介護福祉士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		
(2)介護におけるチームコミュニケーション	山口 清志		介護福祉士	○		
	浅富 直子		介護福祉士	○		

6 老化の理解					
(1) 老化に伴うこころとからだの変化と日常	橋田 幸雄	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
(2) 高齢者と健康	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	上野 寿美江	看護師	○		
7 認知症の理解					
(1) 認知症を取り巻く現状	橋田 幸雄	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	前田 美希	介護福祉士	○		
	清水 清美	准看護師	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	前田 美希	介護福祉士	○		
	清水 清美	准看護師	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
(4) 家族への支援	橋田 幸雄	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
8 障がいの理解					
(1) 障がいの基礎的理解	田上 純子	看護師	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
(2) 障がいの医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	田上 純子	看護師	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	田上 純子	看護師	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
9 こころとからだのしくみと生活支援技術					
(1) 介護の基本的な考え方	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	瀧上 昌	介護福祉士	○		
	田邊 寛享	介護福祉士	○		
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	瀧上 昌	介護福祉士	○		
	田邊 寛享	介護福祉士	○		
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	田上 純子	看護師	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	川崎 史朗	看護師	○		
(4) 生活と家事	火山 勉	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
(5) 快適な居住環境整備と介護	本村 智恵美	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		

(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	山口 清志	介護福祉士	○		
	橋田 幸雄	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	瀧上 昌	介護福祉士	○		
	吉塚 麻美	介護福祉士	○		
	上村 絵美	介護福祉士	○		
	三瓶 綾	介護福祉士	○		
(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	山口 清志	介護福祉士	○		
	橋田 幸雄	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	瀧上 昌	介護福祉士	○		
	佐伯 ひとみ	理学療法士	○		
(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	三瓶 綾	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	橋田 幸雄	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	伊藤 多恵	介護福祉士	○		
	吉塚 麻美	介護福祉士	○		
	上村 絵美	介護福祉士	○		
(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	元村 美穂	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	橋田 幸雄	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	瀧上 昌	介護福祉士	○		
	上村 絵美	介護福祉士	○		
	木村 久美恵	介護福祉士	○		
	志賀 直樹	介護福祉士	○		
	高橋雅彦	介護福祉士	○		
	河野 亜希子	介護福祉士	○		
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	山田 未知治	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	橋田 幸雄	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	花田 杏奈	介護福祉士	○		
	木村 久美恵	介護福祉士	○		
	吉塚 麻美	介護福祉士	○		
	本村 智恵美	介護福祉士	○		
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	中村 朱里	介護福祉士	○		
	上原 唯	介護福祉士	○		
	木原 照美	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	上村 絵美	介護福祉士	○		
	吉塚 麻美	介護福祉士	○		
	長谷川 律子	介護福祉士	○		
	清水 清美	准看護師	○		
(13) 介護過程の基礎的理解	浅富 直子	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	花田 杏奈	介護福祉士	○		
	吉塚 麻美	介護福祉士	○		
(14) 総合生活支援技術演習	瀧上 昌	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		
	上村 絵美	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
	吉塚 麻美	介護福祉士	○		
	山口 清志	介護福祉士	○		

10 振り返り					
(1)振り返り	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	山口 清志	介護福祉士	○		
	浅富 直子	介護福祉士	○		
11 人権学習					
(1)高齢者問題をはじめとする人権問題	平 佳菜美	小学校、中学校、高等学校教諭1種免許状	○		
	黒木 脩平	小学校教諭2種免許状	○		
修了評価					

(注1) 「補助講師」欄には、演習の補助講師を担当する場合に○印を記載すること。

(注2) 「講師承諾書等の提出状況」欄には、「提出済」、「新規提出」又は「科目追加」欄のいずれかに○印を記載すること。

見学及び実習施設一覧表

事業者名：株式会社 シダー

・見学

法人（運営主体）名	施設名又は事業所名	施設（事業）種別	事業所番号	所在地
株式会社 シダー	あおぞらの里 小文字デイサービスセンター	通所介護	4070401072	福岡県北九州市小倉北区大島1-7-19
株式会社 パイン	有料老人ホーム 小文字の郷	特定施設入居者 生活介護	4070403268	福岡県北九州市小倉北区大島1-7-15

・介護実習

番号	法人（運営主体）名	施設名又は事業所名	施設（事業）種別	事業所番号	所在地

・ホームヘルプサービス同行訪問

番号	法人（運営主体）名	施設名又は事業所名	施設（事業）種別	事業所番号	所在地

・在宅サービス提供現場見学

番号	法人（運営主体）名	施設名又は事業所名	施設（事業）種別	事業所番号	所在地

※ 「施設名又は事業所名」は、当該サービス種別について介護保険法等関係法令によるサービス事業者の指定を受けている名称で記載し、それに係る事業所番号を記載すること。

※ 事業所番号、施設名、施設種別については、厚生労働省介護事業所・生活関連情報検索（介護サービス情報公表システム）
<http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp> に掲載されている内容・名称で記載すること。

講義及び演習会場一覧表

事業者名：株式会社 シダー

令和5年3月16日現在

区分	会場名 (施設名又は教室名)	研修時 借上げ	所在地	研修の定員 (人)	広さ (㎡)	受講者1人あたりの 会場面積 (㎡)
①講義・演習会場	パインビル2階 研修室会議室①	○	福岡県北九州市小倉北区大島一丁目7-20	18人	68.6㎡	3.8㎡
	パインビル2階 研修室会議室②			12人	21.4㎡	1.7㎡
	パインビル2階 研修室会議室③			12人	25.3㎡	2.1㎡
	パインビル2階 研修室会議室④			12人	21.6㎡	1.8㎡
	パインビル2階 研修室会議室③④			18人	46.9㎡	2.6㎡
②演習会場	小文字の郷 浴室・脱衣室	○	福岡県北九州市小倉北区大島一丁目7-15	18人	39㎡	2.1㎡
③講義演習会場	あおぞらの里 香住ヶ丘デイサービスセンター2階研修室	/	福岡県福岡市東区香住ヶ丘3丁目9番3号	6人	24.9㎡	2㎡
④演習会場	あおぞらの里 香住ヶ丘デイサービスセンター1階浴室・脱衣室	/	福岡県福岡市東区香住ヶ丘3丁目9番3号	6人	37.7㎡	2㎡
備考	上記③講義演習会場および④演習会場は、福岡市周辺受講者の補講等に使用する（通常①②の会場を使用する） 2024年度 定員12名開講する					

※複数回研修を予定し研修ごとに定員が異なる場合は、研修の定員欄に最も多い人数（40人以内）を記載すること。

※研修時借上げ欄は、研修を実施する際に会場を借り上げることが必要な場合は、○印をつけること。

なお、その会場を使用し研修を行う場合は、所有者の使用承諾書の写しが必要となります。